

定期検査中の 2 号機原子炉建屋地下における 火災報知器の発報について

<概要>

(事象の発生状況)

- ・平成 21 年 5 月 29 日午後 7 時 42 分頃、定期検査で停止中の 2 号機原子炉建屋地下 2 階ポンプ室において火災報知器が発報したため、消防署に連絡しました。
- ・現場を確認したところ、海水系配管の弁の取替え工事において海水が漏れていました。
- ・午後 8 時 19 分、消防署により「火災ではない」と判断されました。

(今後の対応)

- ・今後、原因について詳細に調査します。

(安全性、外部への影響)

- ・けが人の発生はなく、外部への放射能の影響はありません。

(公表区分)

- ・本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成 21 年 5 月 29 日午後 7 時 42 分頃、定期検査で停止中の 2 号機原子炉建屋地下 2 階の地下ポンプ室（管理区域）において火災報知器が発報し、作業員が白いもやを確認したため、午後 7 時 45 分、当社社員が消防署に連絡しました。

本日、原子炉建屋地下 1 階（管理区域）において海水系配管の弁の取替え工事を行っていたところ、海水が漏れるとともに火災報知器が発報しました。

消防署員による現場確認の結果、火災報知器が動作したのは、地下 2 階に設置されている空調機用電動機へ海水がかかったことにより発生したもやによるものであり、「火災ではない」と午後 8 時 19 分に判断されました。

2. 今後の対応

火災報知器の発報ならびに海水が漏れた原因および漏れた海水による周辺機器への影響について、今後、詳細に調査します。

3. 安全性、外部への影響

本事象によるけが人の発生はなく、また外部への放射能の影響はありません。

以 上